秋の火災予防運動

問合せ　埼玉東部消防組合幸手消防署☎(42)9119



2026年度全国統一防火標語
「火の確認　いい日を支える　いい習慣」

11月9日(月)から11月15日(日)まで、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。

これからの季節は暖房器具を使う機会が多くなり、空気が乾燥しているため、火災が発生しやすくなります。特に就寝中の火災は気づきにくく、逃げ遅れてしまう可能性が高くなります。就寝前にはストーブやこたつの電源を切る。ガスコンロの元栓は閉めるなど、火の元の確認を徹底しましょう。

◆もしもの時は119番

火災や救急などの緊急時は、消防署の一般電話への通報ではなく、局番なしの【119番】へ通報をお願いします。

市内の災害でも、いち早く現場に到着するため、現場から最も近い市外の消防車や救急車も出動します。

通報のポイント

1. まずは慌てず冷静に119番に通報する。
2. 電話が繋がったら落ち着いて、火災やけが、病人の状況などを出来るだけ詳しく伝える。

□住宅防火～いのちを守る10のポイント～

◇4つの習慣

① 
寝たばこは絶対にしない、させない

② 
ストーブの周りに燃えやすいものを置かない

③ 
コンロを使うときは火のそばを離れない

④ 
コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

◇6つの対策

①火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロなどは安全装置の付いた機器を使用する
②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは防炎品を使用する
④火災を小さいうちに消火するために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく
⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

ぜひ、ご家族で住宅火災からいのちを守るための対策をご確認下さい。

火災予防ポスターコンクール

問合せ　埼玉東部消防組合幸手消防署☎(42)9118

幸手市内の小学校を対象に「火災予防ポスターコンクール」を行いました。381点の応募作品の中から特別賞3人、入賞24人が決定しました。

特別賞、入賞受賞作品については、右記のとおり公共施設に展示します。

展示期間	場所
11月16日(月)午後～ 11月20日(金)午後	幸手市役所本庁舎 1階ロビー
11月24日(火)午後～ 11月29日(日)午後	コミュニティセンター ホール
11月30日(月)午後～ 12月6日(日)午後	ウェルス幸手1階 エントランスホール
12月8日(火)午前～ 12月13日(日)午後	東公民館

●特別賞受賞作品(敬称略)



○幸手市長賞
行幸小学校6年　鈴木　姫菜



○幸手市危険物防火安全協会長賞
吉田小学校5年　山﨑　彩愛



○幸手消防署長賞
上高野小学校4年　三村　柚花

第2版発行！「未来ノート -こころ- ver.2」





問合せ　介護福祉課☎(42)8438

○未来ノートとは

未来ノート-こころ-は、幸手市によるオリジナルのエンディングノートのことです。「これまでの振り返り」と「伝える」ことに重点を置き、自分や自分の大切な人と向き合い、これからも自分らしく生きていくための一助となるよう作成しました。

今回、より多くの人に活用していただけるよう内容を見直し、第2版を発行しました。これまでの人生を振り返りながら、今後の暮らしや大切な人に伝えたいことを考えるきっかけとして、ぜひご活用ください。

HP 詳細はこちら!

配布先
- 介護福祉課窓口
- 老人福祉センター
- 公民館
- 市役所総合受付案内
- 幸手東地域包括支援センター
- 幸手西地域包括支援センター

※詳細はお問い合わせください。

○6つの特徴

1 読みやすい文字。明るいデザイン
手に取りやすい、人に勧めたくなるノートを目指しました。

2 楽しく作れるノート
未来は笑顔で考えてもらいたいと思い、楽しく作れるノートを目指しました。

3 考えや気持ちを残せるスペース
本人の気持ちや考えの整理、家族などがその人を理解できる。また、その上で一緒に向き合えるよう、考えや気持ちを残せるスペースを作りました。

4 書きすぎないノート（個人情報は最小限に）
誰かと一緒に作ることに重点を置いているため、個人情報を詳しく書くようなページは用意していません。

5 支援者などが知りたい情報を網羅
公的サービスなどを利用する場合に、その支援者の人が知っておきたい内容を踏まえ作成しました。

6 すぐわかる相談先
今後を考えた時に心配なことを整理するページと相談先のページが繋がるように作成しました。

11月30日は「人生会議の日」ACP/Advance Care Planning

【人生会議とは】
人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族などや医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

【人生会議を始めてみませんか】
誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やけがをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約7割の人が、医療やケアについて自分で決めたり、望みを伝えたりすることが難しくなると言われています。だからこそ、元気なうちから大切にしていることや望んでいることを考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有しておくことが重要です。

人生の最終段階で、あなたが大事にしたいこと、望む生き方について考え、話し合う「人生会議」を、いま、できることから始めてみませんか。気持ちや状況に合わせて、何度でも見直すことができます。

未来ノートを活用して、あなたの大切にしたいことや望む生き方について考え、身近な人と人生会議を始めてみませんか。